

●施策名

【施策 1 1】生涯を通して学習し、その成果が生きる環境を整備します
(関連指標：指標 4 6～指標 5 2 (P 5 6))

- i 県民の学習機会の充実と学習成果を生かした社会参加の促進
- ii 生涯学習施設等の連携とネットワークづくり
- iii 東日本大震災の記録の収集・保存
- iv 生涯学習推進拠点機能の強化

●代表的な取組の進捗状況

i 県民の学習機会の充実と学習成果を生かした社会参加の促進

生涯学習による復興応援事業「地域コミュニティ再生のための県民講座」を県内 4 カ所で開催し、延べ 1 2 3 名が参加しました。

- ・ 時期：平成 2 5 年 1 0 月～1 1 月 (計 4 回)
- ・ 内容 ①パネルディスカッション (各事例発表 3 団体)
②ワールドカフェによるワークショップ

* 行政、NPO、仮設住宅で活動する団体の事例発表やワークショップを通して、復興に向けた取り組みや明日の地域づくりについて考える場となりました。



パネルディスカッションの様子

ii 生涯学習施設等の連携とネットワークづくり

県民の心の復興を支援するため、県立美術館及び県立博物館において、それぞれ特色ある事業を実施しています。

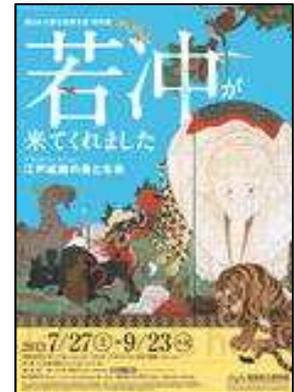
- ・ 文化による心の復興支援プロジェクト
【美術館】若沖が来てくれました (プライスコレクション)

江戸絵画の美と生命

入場者数 1 5 5, 5 9 2 人

- 【博物館】八重の桜特別展

入場者数 2 3, 9 7 7 人



若沖展のポスター

iii 東日本大震災の記録の収集・保存

東日本大震災に関連する資料等を収集・保存し、広く県民に情報を提供するとともに、移動図書館車の巡回による資料の貸出を行っています。

- (1) 震災及び原発事故関連資料収集数 3, 0 0 9 件
- (2) 仮設住宅・仮設校他学校への移動図書館号巡回
1 6 回で 4, 8 3 2 冊の資料貸出を行いました。



県立図書館の復興ライブラリーコーナー

●問題点・改善等が必要な項目

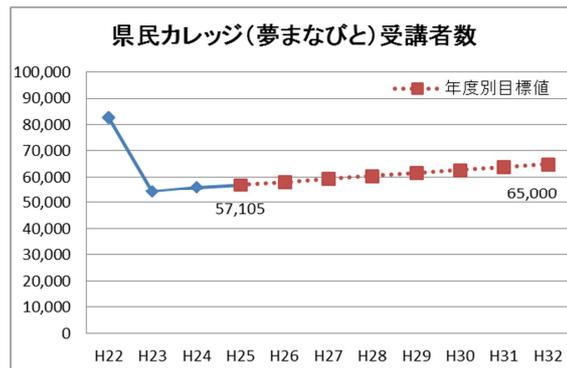
- ・ 生涯学習に係る事業や講座の周知及び実施に向けた市町村や関係機関・地域団体等との更なる連携。

●取組の方向性

- ・ 県民が主体的に学習を進められるよう、学習機会の充実を図るとともに、学習した成果を生かして、地域への誇りと愛着を持ちながら自らの力で地域の課題を解決し、地域の活性化に取り組める人材の育成を進めます。
- ・ 震災の経験を踏まえた地域の防災力を向上させるための学習の支援など、本県として喫緊の課題に対応する学習機会の充実を図ります。

●主な指標の状況

- | 指標 | 現況値 | 年度別目標値 | 評価 |
|---------------------------|----------|----------|--------|
| 指標 1
県民カレッジ（夢まなびと）受講者数 | 57,105 人 | 57,000 人 | おおむね順調 |



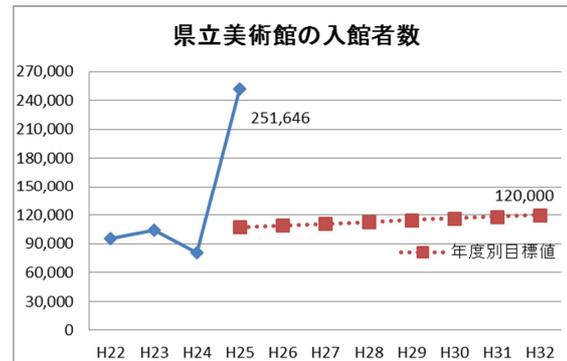
①評価の理由

現況値はおおむね目標値に達しており、震災前の水準までは達していないものの上昇傾向にはあるため。

②今後の取組

講座内容の検討や県民カレッジとのPRによる生涯学習の普及啓発を図る。

- | 指標 | 現況値 | 年度別目標値 | 評価 |
|--------------------|-----------|-----------|----|
| 指標 2
県立美術館の入館者数 | 251,646 人 | 107,400 人 | 順調 |



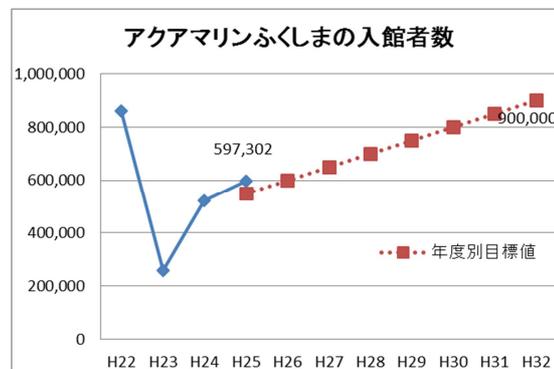
①評価の理由

目標値を大幅に超えているため。

②今後の取組

平成25年度は「若沖が来てくれました」展等により、昨年度を大幅に上回る入館者を記録したが、今後も、魅力ある展覧会を開催することによって目標値の達成を目指す。

- | 指標 | 現況値 | 年度別目標値 | 評価 |
|------------------------|-----------|-----------|--------|
| 指標 3
アクアマリンふくしまの入館数 | 597,302 人 | 550,000 人 | おおむね順調 |



① 評価の理由

入館者は震災前の水準までには回復していないが、目標値以上に達成しているため。

②今後の取組

放射線量測定値の公表や移動水族館アクアラバンを活用した風評を払拭するための広報等による入館者数の増加を図るとともに、地域の復興と併せて、魅力的な展示を行うなど施設としてのポテンシャルを上げていく。